

県指定 天然記念物

佐伯城山のオオイタサンショウウオ



オオイタサンショウウオは、体長は約15cm、体は黄色を帯びた褐色から暗い褐色で、田園地帯から標高500mほどの山地の溝や池などの止水に産卵する。産卵期を除けば谷部の林内や石の下にいて、夜間小動物を捕食して生活している。城山は夏の間に生活するには湿度が高く、食用となる小さな虫の豊富な自然がよく保存されている。また、城山はオオイタサンショウウオの標準産地となっており、以前は城山の雌池、雄池、三の丸の池などに多くの産卵が確認されていたが、現在は周囲の環境変化により個体数も減少している。